

2024.2月

銀の汗 Again

A面

栃木県那須烏山市老人保健施設 富士山苑



UNマシン5号機設置



バケツリレー形式でホースを上げる



マイナス7度でドラム缶凍結



施工中



曾根OPと瀝青建材(株)宇都宮の皆様



現場途中のクジラ看板



大金クジラの化石

現場名 那須烏山 富士山苑
施工日 12月19・20・22・23日(4日間)
施工店 瀝青建材株式会社様
営業担当店 ベスト化研株式会社様

■1000万年前の那須烏山にはクジラが泳いでいた？

今回の施工の舞台となったのは栃木県那須烏山市の老人保健施設「富士山苑」3,000㎡
 現場打合せに向かう途中、大金トンネル付近で奇妙な看板を発見【大金クジラ発見地→600m】なにになに？どーゆー事？とヤホーで調べたところ。昭和53年にトンネル工事をしていた際に、荒川の崖からクジラの化石が見つかり、大金に近かったことから「大金クジラ」と名付けられたとのこと。

およそ、1000万年前に日本海が生まれた際にこの辺りはいったん海の底に沈んでいたため、クジラの他にも、イルカやアシカの化石も見つかっているとのこと。

1000万年前は海の底だった栃木県の現場で防水工事をするのに不思議な気持ちになりました。



栃木県立博物館



1千年前の地図



現在

■マイナス7度の極寒施工との闘い

さて、施工当日。気温計を見るとマイナス4度。12月の栃木県那須烏山市はこんなに寒いのかと思ひながらの施工となり圧送準備に材料加温を含め、いつもの倍の時間がかかりました。

いざ始まってみれば、いつも通りの短時間施工で初日予定の1,500㎡を、4時間半ほどで終了。

そして、次回施工日の予想気温を確認するとマイナス7度＼(^o^)/

循環を含めた施工準備に今回以上の困難が予想されました。

そこで、現場監督の湯沢様の機転で、前日納品予定のドラム缶を、急遽、当日入れすることでなるべく材料が冷えるのを防ぐことにしました。

その甲斐もあり、前回と同程度の準備でUN施工を始めることが出来ました。

寒さが起因と思われる問題で、お客様の手間を取らせてしまう部分もありましたが、無事3,000㎡を4日間で施工を終えることが出来ました。

寒さ等、これからの施工のための改善策なども、お客様よりご提案いただき、私たちが現状に満足することなく前進してまたお会いできることを誓いながら、現場を後にしました。ありがとうございました。

2024.2月

銀の汗 Again

B面

走れ産廃！2024福男



竹瀬・小田・豊田 産廃ドライバー



福男・豊田ドライバー

2024年 走れ産廃福男！
今年の福男は、
廃液チラシを毎月10現場以上配布
分別じょうご2も実験を繰り返した、豊田ドライバー
体重0.1トン、膝に負担あるも
コンドロイチンを飲んで頑張る
豊田ドライバーが2024福男に。
本人、辰年、年男おめでとう！



じょうご2

軽～いシリーズ



カルメットとカルハーネス

2023年,多くのヘルメットとフルハーネスのご注文
ありがとうございました。
そのお客様の声で多かったのが、フルハーネスを
装着するのはいいが意外と重くて
午後には、くたくたになる、もっと軽いもの無い？の声でした。
ヘルメットもLED懐中電灯を装着すると意外と
重いので軽いものない？の声もいただきました。
軽いは一つキーワードになっています。
そこでフットワークの軽い特販チームとして
【カルメット(280g)とカルハーネス(1,900g)】
2024年新春より、ご提案させていただきます。(チラシ)



特販天使:カール宮崎

フットワークと気持ちの軽さ自信あり

埼玉物流リフォーム完成:2階は産廃デポ



埼玉物流入口付近



1階事務所



2階産廃デポ

埼玉物流センターの所員が2023年10月頃より、事務所のリフォームを開始。机や棚に専用のクロス等を貼り、12月には専門業者が壁と床を張替え、1月に見事完成しました。2階は産廃チームの待機所ですが、そちらも綺麗にリフォームを終えました。物流:産廃共に、汗臭い男たちが日々銀の汗を流していますが、事務所はさわやかになりました。

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

UNマシン にて検索

【sweat of silver】

八代亜紀さんの訃報がテレビで流れたとき、20代の息子が「えーうそー俺、好きだったのに～」と叫び、驚いた私は「お前、八代亜紀さん知ってるの？」と聞くと、以前ジャズを歌っている声がネットから流れ、上手いなと感心していた歌手が、八代亜紀さん、その時からファンになったとの事。さすが演歌の女王。演歌以外にも抜群に聴かせるようです。そこで私もYouTubeで聴くと、本当に聞惚れる歌声でした。ダンチヨネ～♪
油絵の方もフランスのル・サロン展に5年連続入選する実力で、天は八代さんに二物も三物も与えました。
ただし、若いころは苦労の連続でキャバレーやクラブなどの、ドサ回りを十数年間行い、まったくヒット曲に恵まれませんでした。
その後、その苦労が実り、1980発売の「雨の慕情」でレコード大賞を受賞し、演歌の女王に昇りつめていきました。
女王になってからも密かに寄付や被災地などのボランティア活動を積極的に支援、誰からも好かれて、尊敬される人だったそうです。
以前テレビのインタビューで、癖のあるインタビュアーが、わずか20分の中で八代さんのピュアな心根の魅力にやられ、ファンになっていった場面を見ましたが、その映像を見て「本当に、八代亜紀さんは、素晴らしいステキな人だ」と感動しました。
まったく現役時の八代亜紀さんの演歌を知らない20代が、違う曲を聞いて上手いと感動させる、真の実力プラス心根の素晴らしさ・・・脱帽です。
「ドサ回りの不遇時があったからこそ・・・」との本人の言葉がありましたが、その不遇時以前からのピュアな心根をずっと保ち、不遇時も磨き続けた人でした。こんな風に素敵に年を重ねていきたいと、自身も水彩筆をとりキャンパスに向かいました。
「散る桜、昭和は遠くなりけり」ダンチヨネ～♪